Written by Administrator
Sunday, 03 May 2009 11:18 - Last Updated Tuesday, 07 June 2011 08:56

□□、□□□□□で□わされるさりげない□、またはおそらく□□や□□との□□の□□は、□□の□□、□□□□□に□する□□の□□についてです。□は、□□□□□、□□の□□、□はいい□□がないことなどに□まり、□□□にもっと□きな□□の□になります。□□に□まれる□□□□□□、うつ□や□インフルエンザなどの□□、□□□な□□、□□□□□などによる□□□□□、□□などの□□□□□、そしてテロや□□などの□□□□□についてです。□□の□□「いったいこの□□はどうなってしまうのだろう」といった□□で□□がくくられます。

カバリストは、□□の□□している□ての□□には、たった□つの□□しかないといいます。それらは、□□の□の□□と□□の□にバランスが□たれていなく、それをバランス□□に□さなければならないことを、□□に□がつかせているというのです。□□、□□におけるその□のすべてのものは、□とレシプロシティ—□□□□□·□□□□□の□□を□りながら、□□に□□して□□しています。そして□□との□□□を□いているものは、□□のエゴだけです。

しかしエゴは□□の□□□□□であり、どんなに□□しようがエゴを□□させることはできないとも、カバラは□□します。したがって□□□□□な□□との□□をもたらすには、□□のエゴの□い□を□すだけでよいのです。その□□は□□の□□□に□して□とは□う□□を□□させることです。それは□□すべてを□□する□□□な□と□□をバランスに□かせる、□と□□□□えること□の□□のことです。

□□ほど、この□□と□□を□□させて、エゴイズムの□い□を□すのに□□なタイミングはありません。Annie Leonard□の『The Story of Stuff』は、□□の□□の□□□における□くべき□□□□と、□□の□□に□ぼすその□□について□□しました。□えば、□□の□□□の□5□を□める□□は、□□30□で□□の□□□□の3□の1を□□しました。さらには、□□が□□する□□□□□□の51□を□い、□□は、□□のアイデンティティ—における□□の□□として、□□□で□□し、□□を□しています。しかし□□があります。□□はより□せに、□□に、そして□□になりましたか□

そうなっていないということが□□です。その□□は□に□□の□□□□というと□□□な□□□□のエゴイズムによるものとカバラは□□します。したがって□□の□□□な□□や□□を□□することは、□□□□を□□させ、□□の□しみを□□かせるだけです。

□□の□□は□□の□□□□を□□した□でさえ、それが□□□であると□□し□□が□□することを□してきました。この□□は、□□が□□の□□□□ □されていない□□のエゴイズム
□の□に□まる□り、ポジティブな□□をもたらすことが□□□であるということを、いつか□□せざるをえない□□にいるからです。

□かに、□□□□を□□に□□する□は、かなり□いといえます。しかし□□なことは、□□が□□という□□□□を、□ら□んで□□□に□うようになって□めて、□□の□□に□□に□り□むことができるということです。そうするためには、□□の□□の□しい□い□を□ばないといけません。そしてそれこそがカバラの□□が□えることなのです。